

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
昭和63年11月29日 第35報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	2860	◎	○
(黄鞭) <i>Dinobryon bavaricum</i>	400	○	◎
(黄鞭) <i>Chrysosphaerella sp.</i>	100		
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	140		
(黄鞭) <i>Mallomonas sp.</i>	40		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	80		
(珪) <i>Cyclotella stelligera</i>	120		
(珪) <i>Cyclotella meneghiniana</i>	20		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	100		
(珪) <i>Cyclotella sp.</i>	280		
(珪) <i>Skeletonema potamos</i>	60		
(珪) <i>Synedra acus</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	100		
(珪) <i>Nitzschia sp.</i>	20		
(渦) <i>Gymnodinium sp.</i>	40		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	380		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	120		
(緑) <i>Micractinium pusillum</i>	160		
(他) その他の植物プランクトン	200		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	3540	67.6	62.7
(珪) 珪藻綱	800	15.3	13.7
(渦) 渦鞭毛藻綱	40	0.8	1.7
(褐) 褐色鞭毛藻綱	500	9.5	21.5
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	160	3.1	0.5
(他) その他のプランクトン	200	3.8	0.0
総細胞数	5240	総体積 (μm^3)	3.11E+06
種類数	19		

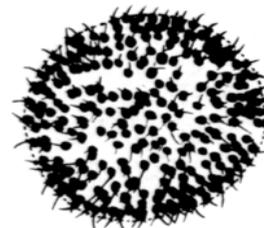
- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第1優占種		細胞数 (細胞数/ml)
黄色鞭毛藻綱	<i>Uroglena americana</i>	2860

第2優占種		細胞数 (細胞数/ml)
黄色鞭毛藻綱	<i>Dinobryon bavaricum</i>	400

植物プランクトン第1優占種



Uroglena americana
(ウログレナ)
黄色鞭毛藻類

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

植物プランクトン第2優占種



Dinobryon bavaricum
(ディノブリオン)
黄色鞭毛藻類

各細胞は細長く、サヤの中に入れており長短2本の鞭毛を有し、木の枝のような群体を形成する。群体は回転しながら活発に泳ぎ回る。